よのなか科 社会編 9 キミがもし親になったら

―「赤ちゃんポスト」と出生前診断―

worksheet

1 あなたは、「赤ちゃんポスト」を設置することに賛成ですか。

賛成　　反対

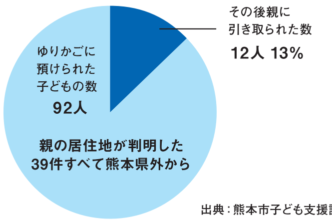
理由

■「赤ちゃんポスト」とは・・・

親が赤ちゃんを育てられずに殺したり遺棄したりする事件が絶えないことから、熊本県の慈恵病院の蓮田太二理事長らがドイツの例を参考に開設したのが「赤ちゃんポスト」です。病院裏手の壁に縦50センチ、横60センチの金属製の扉があり、親は誰にも知られず、匿名で赤ちゃんを預けることができます。内側の保育器に赤ちゃんが置かれるとブザーが鳴り、24時間態勢で詰める看護師らが保護するようになっています。現在、日本では唯一慈恵病院にあり、「こうのとりのゆりかご」と呼ばれています。

■「こうのとりのゆりかご」に預けられた子どものうち、親が引き取りにきた件数

（平成19年5月10日から平成25年3月31日）



出典：熊本市子ども支援課

2 あなたは、「出生前診断」は必要だと思いますか。

必要　　不要

理由

■「出生前診断」とは・・・

出生前診断とは、妊婦の血液だけで胎児にダウン症など3種類の染色体異常があるかを調べる検査のこと。新型の出生前診断が、2013年4月から始まりました。日本産科婦人科学会は指針で、対象者を、ほかの検査で異常が疑われた場合や、高齢妊娠などに限定しています。十分な遺伝カウンセリングができると日本医学会が認めた施設のみで実施されています。

調査によると、最初の半年間で3514人が受診し、67人に陽性の反応が出ました。その後の確定診断でも陽性だった56人のうち、9割以上が人工妊娠中絶を選んだそうです。

新型の出生前診断は既に始まっていますが、生まれる前の赤ちゃんの状態を調べ、産むか産まないかの判断をすることには、様々な議論があります。

3 子どもを生み、育てるには、喜びの一方でさまざまな困難がともないます。あなた自身の歴史をふりかえって、親にはどんな苦労があったかを想像し、180文字以上200字以内で書いてみましょう。

100

180

200